

老年看護学概論	1年・後期	1単位	准教授 石久保 雅浩
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33210691

1. 授業のねらい・概要

老年看護学は、高齢者が人生の統合に向けて老年期を生きられるように個人の力を引き出し、健やかに老いることを支える実践を科学する学問である。本授業では、老年期にある人の身体的、心理・精神的、社会的変化が及ぼす生活への影響、および高齢者を取り巻く環境や保健医療福祉システムを理解することを目的としている。高齢者の生きる過程を支援するために必要な基礎的知識・技術を学ぶ。

2. 学修の到達目標

1. 老年期の身体的、心理・精神的、社会的変化を理解し、老いることを考えることができる。
2. 老年期の発達課題や生きがい等を理解して、老いを生きること考えることができる。
3. 高齢者を取り巻く環境、ケアシステムについて説明できる。
4. 高齢者の倫理的側面について説明できる。

3. 授業の進め方

本科目では、老年期を生活している人を理解するための基本的な知識・技術を学ぶ。

4. 授業計画（講義）

1. ガイダンス 老年看護の基盤
2. わが国の高齢化の現状
3. 加齢による身体的変化と生活
4. 加齢による心理・精神、社会的変化と生活
5. 高齢者の保健医療福祉システム
6. 高齢社会における権利擁護
7. 高齢者のリスクマネジメント
8. まとめ

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は3分の2以上の出席をした者）100%

6. テキスト・参考文献

教科書：1) ナーシンググラフィカ 高齢者の健康と障害 老年看護学① メディカ出版
2) ナーシンググラフィカ 高齢者看護の実践 老年看護学② メディカ出版

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な内容

シラバスの授業計画の範囲について最低1時間の予習及び授業内容について1時間以上の復習を行なうこと。

8. 受講上の留意事項

老年看護学実習の先修科目である。
積極的に高齢者を知ろうとし尊敬する気持ちを持って学習に臨むこと。

9. 課題に対するフィードバックの方法

提出された課題は教員が内容をチェックして返却する。内容の不備なものは再提出を求める。
定期試験の解答は試験直後口頭でフィードバックするか、後日掲示し提示する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり、修得できない場合は進級不可となる。

11. 実務経験のある教員等による授業科目

医療機関における看護師としての実務経験を活かして、講義を行う。